Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

若草プロジェクト

設立3周年シンポジウム

基調講演　桐野夏生

少女たちの現在あるいは居場所―『路上のX』から

幸せな日常を断ち切られ、親に棄てられた女子高生たち。ネグレクト、虐待、DV、レイプ、JKビジネス。かけがえのない魂を傷めながらも、3人の少女は酷薄な大人たちの世界をしなやかに踏み越えていく。(桐野夏生『路上のX』朝日新聞出版刊　内容紹介より)

開会あいさつ―1年をふりかえって
　村木厚子（若草プロジェクト代表よびかけ人）

寂庵からの報告　―若草とわたし―
　瀬尾まなほ（瀬戸内寂聴秘書　若草プロジェクト理事）

『座間事件』後の若年女性や少女たちへの支援の状況
　行政の取り組み　　厚生労働省（予定）
　SNSが開けた若年女性のパンドラの箱　(一社)社会的包摂サポートセンター

2018年10月13日土曜

開場12時30分
開会13時30分～閉会16時50分
混雑が予想されますので開会の30分前までにおいでください

会場：青山学院大学青山キャンパス 17号館6階 **本多記念国際会議場**
東京都渋谷区渋谷4丁目4－25　https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html
渋谷駅より徒歩10分、表参道駅より徒歩5分

参加費：3000円（学生：1000円）当日受付にてお支払いください。
お申込み：HPまたはFAX（裏面の申込用紙にご記入のうえファクスしてください。）

主催／一般社団法人　若草プロジェクト　http://wakakusa.jp.net
協力／青山学院大学　後援／内閣府、法務省、厚生労働省、日本更生保護女性連盟、日本BBS連盟(申請中)

photograph:(c)Keiichi SUTO

●若草プロジェクト設立3周年シンポジウム登壇者プロフィール●

桐野夏生

1951年金沢市生れ。93年『顔に降りかかる雨』で江戸川乱歩賞、98年『OUT』で日本推理作家協会賞、99年『柔らかな頬』で直木賞、2003年『グロテスク』で泉鏡花文学賞、04年『残虐記』で柴田錬三郎賞、05年『魂萌え!』で婦人公論文芸賞、08年『東京島』で谷崎潤一郎賞、09年『女神記』で紫式部文学賞、10年『ナニカアル』で島清恋愛文学賞、11年同作で読売文学賞を受賞。15年紫綬褒章受章。

瀬尾まなほ

1988年神戸市生れ。瀬戸内寂聴秘書。京都外国語大学卒。卒業と同時に寂庵に就職。3年目の2013年3月、長年勤めていたスタッフ4名が退職（寂庵春の革命）。66歳年の離れた瀬戸内寂聴の秘書となる。瀬戸内宛てに書いた手紙を褒めてもらったことにより、書く楽しさを知る。日々の奮闘を著した『おちゃめに100歳！寂聴さん』が話題となっている。若草プロジェクト理事。

●『若草プロジェクト』について●

『若草プロジェクト』は虐待、性被害、貧困等々によって生き難さを抱える少女や若年女性の支援を目的として2016年春、瀬戸内寂聴、村木厚子らの呼びかけによって立ち上げられました。
シンポジウム、研修などを通じて、彼女たちを知り巻く実態を社会に伝え、支援者のネットワークを作っていきます。
この活動に賛同してくれるみなさまを募集しています。

会　費
賛助会員　年1口1万円（賛助企業は5口以上でお願いいたします）
申込先　ゆうちょ銀行　10170-85054551 ワカクサプロジェクト
（銀行からのお振り込みの場合　支店名　0一八　口座番号　8505455）

代表呼びかけ人
瀬戸内寂聴

代表呼びかけ人
村木厚子

若草プロジェクト設立3周年記念シンポジウム申込フォーム（締切10月10日）

定員に達しお断りする場合はご連絡いたします。

フリガナ 氏名	所属	電話番号
住所	e-mail	
参加の動機を 簡単にお書きください		
この講座をどこで知りましたか？		
若草プロジェクトの連続講座、シンポジウム等のご案内をお送りしてよろしいですか？　（　はい・いいえ　）		

※本シンポジウム・連続講座以外
にはいただいた個人情報は利用しません

FAX 03-6869-3231

お問い合わせ　wakakusa@wakakusa.jp.net

HPからの申込み　http://wakakusa.jp.net/seminar/
（ページ最下部に申込みフォームがあります）